

## 「宇都宮の積乱雲」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

栃木県宇都宮市の名物といえば、「餃子」「雷」「ウータ君」だろう。特に雷は日本屈指の好発地で、雷好きの私は、夏の間宇都宮市に住みたいほどだ。



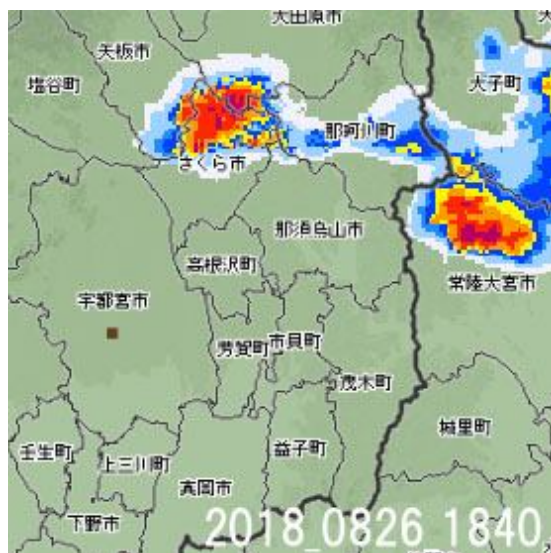
宇都宮の友人から積乱雲の写真が送られてきた。見事に成層圏界面まで発達した優勢な積乱雲だ。電光(稲妻)も見られる。決定的瞬間をとらえた写真だ。



積乱雲の内部の放電(幕電)は珍しくないが、このような積乱雲の外側の放電(雲間放電)は珍しい。こ

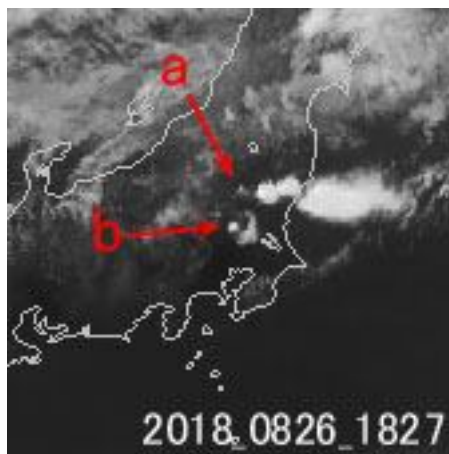
の写真はLINEで送られてきたので、恐らくスマホのカメラで撮影したものだろう。なかなかの技術だ。

この日の宇都宮市は、最高気温36℃(15:45)を記録している。友人の話だと、この時点では、宇都宮には雨も雹も降っていなかったという。写真で見ても、少し遠い積乱雲のようだ。しかし雷鳴は聞こえたというので、10km以内と考えられる。

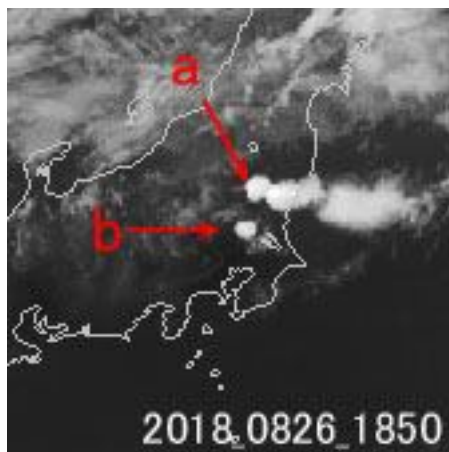


当時の雨量解析を見ると、宇都宮市の北～北東に雷雲が発生していることがわかる。写真の積乱雲は、恐

らく、さくら市北部のものだろう。



気象衛星(高頻度赤外線像)もこの積乱雲をとらえていた。aがその積乱雲で、18:27頃に衛星画像に現れ、わずか



20分ほどで急速に発達していることがわかる。Bの積乱雲は茨城県西部に発生した積乱雲で、この雲の幕電現象は東京からも見えた。